社会資本総合整備計画　　事後評価書

令和08年10月30日

計画の名称	つくばみらい市地域住宅整備計画		
計画の期間	令和０５年度　～　令和０７年度　(3年間)	重点配分対象の該当	○
交付対象	つくばみらい市		
計画の目標	つくばみらい市の現状として、みらい平地区は、子育て世帯を中心に人口増加が進んでいるが、既存地区においては、少子高齢化により人口減少が見受けられる。 本事業は、子育て世帯を中心とした中間層向けの集合住宅を板橋地区に供給することで、既存地区の定住人口の増加や地域の活性化を図ることを目的とする。		

全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	1,483	A	1,394	B	0	C	89	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	6	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和4年4月	令和7年4月	令和8年4月
1	板橋地区の定住人口の増加			
	地域優良賃貸住宅計画地の行政区（板橋地区）の若者・子育て世帯の人口増加	627人	735人	771人
2	地域の活性化			
	地域優良賃貸住宅計画地の行政区（板橋地区）の若者・子育て世帯人口割合（R4.4の割合と整備後R8.4の比較）	30%	34%	35%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：　0000781713

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R05	R06	R07	R08	R09	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	つくばみらい市	直接	つくばみらい市	－	－	地域住宅計画に基づく事業	地域優良賃貸住宅整備事業	つくばみらい市	■	■	■			1,394	1.04	未策定
											小計						1,394		
											合計						1,394		

案件番号： 0000781713

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R05	R06	R07	R08	R09	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
地域住宅計画に基づく事業	C15-001	住宅	一般	つくばみらい市	直接	つくばみらい市	－	－	地域住宅計画に基づく事業	地域優良賃貸住宅の整備に伴う駐車場整備	つくばみらい市	■	■	■			67		未策定
		駐車場を整備することで入居者の利便性を高め、入居率の向上を図る。																	
	C15-002	住宅	一般	つくばみらい市	直接	つくばみらい市	－	－	地域住宅計画に基づく事業	地域優良賃貸住宅の整備に伴う道路整備	つくばみらい市	■	■	■			22		未策定
		地域優良賃貸住宅住民及び近隣住民に配慮した道路整備（場内道路の付替え）事業を地域優良賃貸住宅事業と一体となり実施することにより、住環境が向上する。																	
											小計						89		
											合計						89		

案件番号： 0000781713

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
つくばみらい市都市建設部住まい開発政策課において事後評価を実施	令和8年度
	公表の方法
	つくばみらい市ホームページにおいて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	つくばみらい市の現状として、少子高齢化による人口減少が見られていた既存地区において、子育て世帯を中心とした地域優良賃貸住宅及び一体的な住環境整備により、計画地の行政区（板橋地区）の若者・子育て世帯が、627人（令和4年4月）から796人（令和8年4月）に人口増加し、既存地区及び当市人口増加に寄与する事業となっている。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

本計画において定量的指数は上昇しており効果は得られている。今後も安全・安心な住まい・まちづくりを維持していく。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	人		
	最　終 目標値	771人	目標を上回る実績となった。
	最　終 実績値	796人	
2	%		
	最　終 目標値	35%	目標を達成した。
	最　終 実績値	35%	

案件番号：0000781713